

ユーエスディ(USD、川崎市)は画像処理と数値制御(NC)をコア技術として、検査装置などの開発・製造・販売を手掛ける。人間の目にあたる画像処理装置と、手足をつかさどるNC装置を

躍進企業 山 かながわ

一つにまとめた独自の「ワンボードシステム」を武器に、大手メーカーでは対応できないニッチ分野のエンドユーザー向けの製品に注力している。米や紅茶、大豆や塩などの選別検査システム、

ユーエスディ 画像処理装置・数値制御装置



画像処理から制御までをワンボックス化した「マイクロボックス」を中核装置としている

ニッチ製品技術が支え 一体的に



小島秀作社長

〈会社概要〉

▽所在地	川崎市麻生区上麻生7-2-29
▽創業	1981年7月
▽事業内容	画像処理装置・NC装置などの開発
▽売上高	4億4100万円(2007年1月期)
▽経常利益	2500万円(同)
▽従業員数	18人

ド・プログラマブル・ゲートアレイ)技術を大手に先駆けて採用。画像処理と制御を一体化した中核装置を開発して、顧客に応じたカスタマイズを簡単にすると同時に、低価格を実現した。画像処理と制御の二つの技術を一体的に手掛けるのは理由がある。機会社だけあって、社内制御メーカーとコンピュータも理想を追求。

医療用の尿検査装置「い」との考えからだ。USDが手掛ける製品にはユニークなものが多。小島秀作社長は「制御回路やソフトの自

社開発で蓄積した技術を機

械メーカーとコンピュータも理想を追求。画像処理と制御は必要不可欠な技術だから。夢を求めて設立された会社社だけあって、社内制

「量」が背景に、大規模集積回路タイマーを経て、小島社長が会社を興したの「力」と呼ぶ「相付加価値」が基準となる。作業工程のある会社には勝てないから、一つ一つの作業

が付加する価値を設定し、現在は東北大、岩手大で付加価値を見えるとの産学連携で遠隔病理化。その上で、年度の診断支援システムの開発。初めに従業員それぞれが計画を策定、夏冬二回、細部などを検査し、悪性その実績を集計する。実現した付加価値の四〇%は会社の経費などに充て、残り六〇%を本人に配分する仕組みだ。

一般的な評価制度はない。「貢献・報酬」との考え方に基づくシンプル成果主義だ。小島社長は「仕事は与えられるものではない。どのような技術を身につけ、どのような仕事を、どれだけの報酬を得るか、社員一人ひとりが決める」と語る。公平性を確保し、透明性を高めるため、全員の給料一覧表を公表する徹底ぶりだ。

現在、事業領域を拡大する考えだ。医療分野での新製品を、事業領域を拡大する考えだ。

神奈川